

石州府1号墳

米子市石州府にある1号墳は、直径40m、高さ8mの米子平野最大の円墳で、埋葬施設も全長8.2、高さ3mの巨大な横穴式石室です。奥の壁は巨大な一枚石で内部には石障と呼ばれる遺体を置く仕切りの板石が観察されます。

古い時代に盗掘され、内部の副葬品は知られていないが羨道部から馬具、頭椎太刀が発見されており古墳の規模に相応しいものであったと推定されます。

約70基で構成される群集墳の石州府古墳群の盟主墳であり、後期後半の佐陀川流域の首長の墓と考えられます

古墳群の大半は工場地造成で失われましたが、石州府1号墳は保存されています



調査中の石州府古墳群



整備後の石州府1号墳



石州府1号墳石室



石州府69号墳（消滅）